



ユーザーガイド

HP 無線バーコードスキャナー

© Copyright 2013, 2016 HP Development  
Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて HP Inc.が使用しています。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。






改訂第 1 版：2016 年 11 月

初版：2013 年 7 月

製品番号：740541-292

## このガイドについて

このガイドでは、HP 無線バーコード スキャナーのセットアップおよび使用方法について説明します。

- 
-  **警告** : 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
  -  **注意** : 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
  -  **重要** : 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  -  **注記** : 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  -  **ヒント** : タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-



# 目次

<b>1 クイックセットアップ</b> .....	<b>1</b>
OPOS ドライバー .....	1
キャリッジリターン .....	2
タブ .....	3
音量 .....	4
<b>2 製品の特長</b> .....	<b>6</b>
HP 無線バーコード スキャナー .....	6
<b>3 安全および保守に関するガイドライン</b> .....	<b>7</b>
人間工学上の推奨事項 .....	7
清掃手順 .....	8
表面のプラスチック部分の清掃 .....	8
電気接続部の表面の清掃 .....	9
スキャナーの接続部 .....	9
クレードルの接続部 .....	10
スキャナーおよびクレードルの念入りな清掃 .....	10
<b>4 スキャナーのセットアップおよび使用</b> .....	<b>11</b>
ベースステーションの取り付け位置の調整 .....	11
ベースステーションの接続 .....	15
ベースの使用 .....	16
ベースのランプ .....	16
バッテリーの充電 .....	17
バッテリーを安全にお使いいただくためのご注意 .....	17
バッテリーの交換 .....	19
スキャナーの使用 .....	21
スキャナーのリンクの設定 .....	21
RF デバイスとベースのリンク .....	21
スキャナーと Bluetooth アダプターのリンク .....	22
電源切断 .....	22
インターフェイスの種類の選択 .....	22
USB-COM .....	22
USB キーボード インターフェイス .....	23


国モード .....	23
<b>5 スキャナーのプログラミング .....</b>	<b>24</b>
プログラミングバーコードの使用 .....	24
その他の設定 .....	24
標準の製品初期設定へのリセット .....	24
パラメーターの読み取り .....	25
照準システム .....	25
正常な読み取りを示す緑色ランプの持続時間 .....	25
<b>6 動作モード .....</b>	<b>26</b>
スキャンモード .....	26
複数ラベルの読み取り .....	27
スタンドの操作 .....	28
<b>付録 A テクニカルサポート .....</b>	<b>29</b>
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	29
お問い合わせになる前に .....	29
<b>付録 B 技術仕様 .....</b>	<b>30</b>
ランプおよびビープ音によるインジケータ .....	33
エラーコード .....	34

# 1 クイックセットアップ

この章のバーコードを使用すると、共通の作業用のセットアップ手順をすばやく実行できます。下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が HP の初期設定に戻ります。

標準の製品初期設定



 **注記：** 標準の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

HP 無線バーコードスキャナーを初期設定のモードに戻すには、下のバーコード（USB HID キーボードエミュレーション）をスキャンします。

USB HID キーボードエミュレーション



スキャナーを HID モードと USB COM モードの間で切り替えた場合は、Windows®オペレーティングシステムがスキャナーのドライバーを再ロードするまで少しお待ちください。

## OPOS ドライバー

HP 無線バーコードスキャナーは、工場出荷時の初期設定ではヒューマンインターフェイスデバイス (HID) キーボードエミュレーションモードになっています。このバーコードスキャナーを OPOS (OLE for Retail POS) ドライバーで使用するには、スキャナーを USB COM (OPOS) モードにする必要があります。

HP 無線バーコードスキャナーを USB COM (OPOS) モードまたは HID キーボードエミュレーションモードに切り替えるバーコードは、このガイドに記載されています。バーコードの一覧は、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナー プログラミングリファレンスガイド）を参照してください。プログラミングリファレンスガイドは、スキャナーに付属しているオプティカルディスクに収録されています。また、HP のサポート Web サイトから入手することも可能です。

HP 無線バーコードスキャナーを OPOS ドライバーで使用するモードにするには、下のバーコード（USB COM OPOS）をスキャンします。

USB COM (OPOS)




## キャリッジリターン

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

標準の製品初期設定



 **注記：**標準の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

スキャンされた各バーコードの後にキャリッジリターンが必要な場合は、以下の順序でバーコードをスキャンします。

プログラミングモードの開始



グローバルサフィックスの設定



0



D



グローバルサフィックスモードの終了





プログラミングモードの終了




## タブ

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

標準の製品初期設定



 **注記：** 標準の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

スキャンされた各バーコードの後にタブが必要な場合は、以下の順序でバーコードをスキャンします。

プログラミングモードの開始



グローバルサフィックスの設定



0



9



グローバル サフィックス モードの終了



プログラミング モードの終了



## 音量

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

標準の製品初期設定



HP 無線バーコード スキャナーで、読み取り成功を示すビープ音の音量を設定するには、下のバーコードをスキャンします。

プログラミング モードの開始



以下の4つのバーコードのどれかをスキャンして、音量を適切なレベルに設定します。

オフ



低



中



高



下のバーコードをスキャンすると、プログラミングモードが終了します。  
プログラミングモードの終了




## 2 製品の特長

### HP 無線バーコードスキャナー

HP 無線バーコードスキャナーは、汎用アプリケーション向けの高品質なデータ収集デバイスです。HP スキャナーは、動作の検出能力を向上させるとともに光学機能を強化することにより、高速で移動する対象物のバーコードをすばやく簡単に読み取ることができるようになりました。このため、小売店や小規模な産業界で使用されるような高いパフォーマンスを要求されるタスクにも適したスキャナーです。このスキャナーには、以下の特長があります。

- **全方位の読み取りに対応**：スキャナーを向けてトリガーを引くだけで、記号を読み取ったりイメージをキャプチャしたりできます。HP 無線バーコードスキャナーでは、全方位のスキャンに対応できるため、記号の向きは問題になりません。読み取り成功のためのガイドとして緑色のスポット光を使用することにより、騒音の多い環境でも静音状態が必要とされる状況でも生産性が向上します。クレードルを 45 度回転させた位置でスキャナーを使用すると、バーコードをすばやく直感的に読み取ることができるよう、照射位置を確認するための照準システムとして照準パターンを利用できます。
- **1D および 2D 記号のデコード**：すべての標準 1D（線形）および 2D バーコードを高い信頼性で読み取ります。以下のバーコードに対応しています。
  - GS1 DataBar™線形コード
  - 郵便コード（中国の郵便コード）
  - スタック型コード（GS1 DataBar Expanded Stacked、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar、Stacked Omnidirectional）データストリーム（記号のデコードによって取得）はすばやくホストへと送信されます。スキャナーはすぐに、別の記号を読み取ることができる状態になります。
- **イメージング**：ラベル、署名、およびその他の対象物のイメージ全体または一部をキャプチャすることによって、カメラとしても利用できます。

 **注記**：安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## 3 安全および保守に関するガイドライン

### 人間工学上の推奨事項

⚠ **警告！** 不適切な体勢で操作することによるけがの発生を防止または最小限にするため、以下の点に注意してください。職場等、作業環境を管理する安全衛生管理担当者に相談の上、適切な安全基準やプログラムに従って従業員のけがを未然に防止してください。

- 反復的な動作を減らすまたはなくす
- 自然な位置を維持する
- 無理な力を減らすまたはなくす
- 頻繁に使用されるものを、手が届きやすい定位置に置く
- 作業を適切な高さで行う
- 振動を減らすまたはなくす
- 直接的な圧力を減らすまたはなくす
- 調整可能な作業場所を用意する
- 十分な空間を確保する
- 適切な作業環境を提供する
- 作業手順を改善する

## 清掃手順

表面のプラスチック部分、スキャン ウィンドウ、および電気接続部を適切に清掃し、スキャンおよびバッテリーの充電が確実に行われるようにする必要があります。

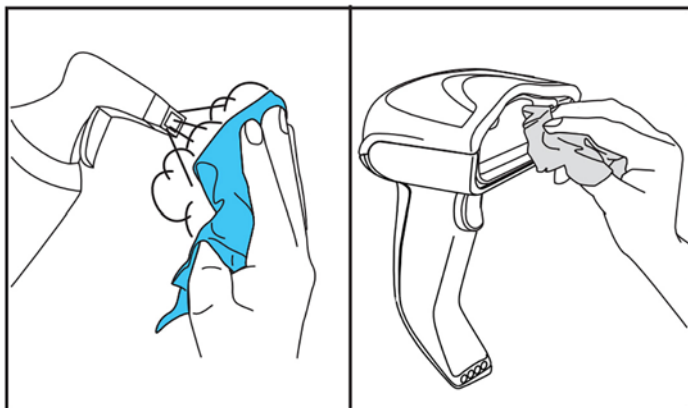
時間がたつにつれて製品にほこりや汚れがたまる場合があるため、定期的に清掃して取り除いてください。定期的に清掃を行う頻度は、スキャナーの使用環境によって異なります。

1 か月に 1 回は念入りな清掃を行うことをおすすめします。

### 表面のプラスチック部分の清掃

表面のプラスチック部分やスキャン ウィンドウは、液体がかかったり、汚れやほこりが付いたりする場合があるため、定期的に清掃して、スキャン中に最適な読み取り結果が得られるようにする必要があります。柔らかく、清潔な、乾いた布を使用して製品を拭きます。

製品の汚れがひどい場合は、薄めた低刺激の洗浄液またはイソプロピルアルコール（最低 70%）で湿らせた柔らかい布でプラスチック部分を拭きます。



標準的なプラスチックで推奨される洗浄液は、ガラス洗浄剤や食器洗い洗剤などのうち、研磨剤が含まれていないものです。

**重要：** 研磨剤が入った洗浄液、刺激の強い洗浄液、または研磨パッドを使用して、スキャン ウィンドウ、接続部、またはプラスチックの部分を拭かないでください。

液体を直接製品に吹きつけたり、かけたりしないでください。

清掃の前に、必ず電源を切り、デバイスの電源コードを抜いてください。

電源を入れなおす前に、必ずデバイスを完全に乾燥させてください。

洗浄液などの液体は、金属の接続部を傷める可能性があるため、表面部分にのみ使用することをおすすめします。

## 電気接続部の表面の清掃

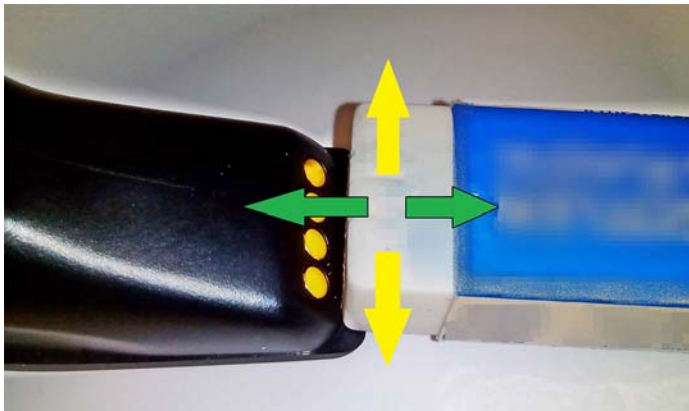
電気接続部を定期的に清掃し、バッテリーの充電が確実に行われるようにする必要があります。スキャナーとクレードルの両方の接続部を清掃してください。

クレードルやスキャナーに液体がかかったり、汚れやほこりがたまったりすると、正常に動作しなくなることがあります。正常な動作を維持するため、定期的に清掃することをおすすめします。

電気接続部の汚れを取り除くためにブラシなどの固い道具を使用しないでください。接続部のメッキが損傷したり傷ついたりすることがあります。

### スキャナーの接続部

- 接続部および接続部周辺のプラスチック部分を清掃するときは、柔らかく、乾いた布を使用してください。
- ほこり、汚れ、および糸くずを必ず取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、白色またはピンク色の消しゴムを使って接続部をやさしくこすってください。下の図の緑色および黄色の矢印の方向にこすります。

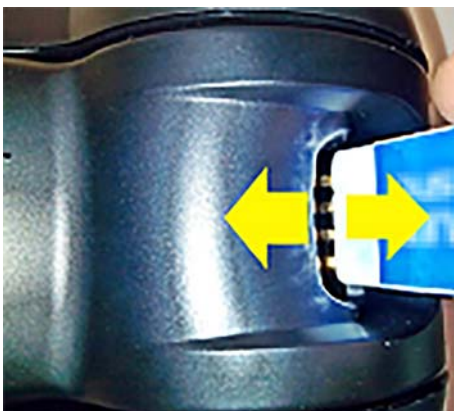


- きれいな圧縮空気を使用して消しゴムの残りかすを慎重に吹き飛ばして、取り除いてください。

**△ 注意：**圧縮空気を使用する場合は、ゴーグルを装着して目を保護してください。ノズルは目から離れた場所に向け、スキャナーの表面に近づけすぎないようにしてください。スプレー缶の警告ラベルを読んでから、圧縮空気を使用してください。

## クレードルの接続部

- 接続部および接続部周辺のプラスチック部分を清掃するときは、柔らかく、乾いた布を使用してください。
- ほこり、汚れ、および糸くずを必ず取り除いてください。そのとき、接続部の上に落下しないように注意してください。
- 白色またはピンク色の消しゴムを使って接続部をやさしくこすってください。クレードルの接続部を清掃するときは、下の図の黄色い矢印の方向にこすります。



- きれいな圧縮空気を使用して消しゴムの残りかすを慎重に吹き飛ばして、取り除いてください。

**⚠ 注意：**圧縮空気を使用する場合は、ゴーグルを装着して目を保護してください。ノズルは目から離れた場所に向け、スキャナーの表面に近づけすぎないようにしてください。スプレー缶の警告ラベルを読んでから、圧縮空気を使用してください。

## スキャナーおよびクレードルの念入りの清掃

**📌 重要：**念入りの清掃を始める前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。

念入りの清掃が終わったら、システムを完全に乾燥させてから、電源を入れなおしてください。環境によっては、電源を入れるまで30分待機してください。可能であれば、電源を入れない状態で一晩置いてください。

電気接続部がすす、油または液体でひどく汚れている場合は、念入りの清掃を行う必要があります。上記の手順で清掃を行っても接続部の汚れを十分に取り除くことができず、システムの正常な動作に影響がある場合は、イソプロピルアルコール（最低70%）を使用することをおすすめします。

綿棒にイソプロピルアルコールを染み込ませ、電気接続部のピンに沿ってやさしく拭いてください。綿が電気接続部のピンに残らないようにしてください。



## 4 スキャナーのセットアップおよび使用

スキャナーを接続してホストとの通信を開始するには、以下の操作を行います。

1. ベースステーションの取り付け位置を調整します ([11 ページのベースステーションの取り付け位置の調整](#)を参照してください)。
2. ベースステーションを接続します ([15 ページのベースステーションの接続](#)を参照してください)。
3. バッテリーを充電します ([17 ページのバッテリーの充電](#)を参照してください)。
4. ベースステーションへのリンクを設定します ([21 ページのスキャナーのリンクの設定](#)を参照してください)。
5. インターフェイスの種類を選択します ([22 ページのインターフェイスの種類を選択](#)を参照してください)。
6. [24 ページの「スキャナーのプログラミング」](#)の説明に沿ってスキャナーをプログラムします (省略可能。必要な設定によって異なります)。

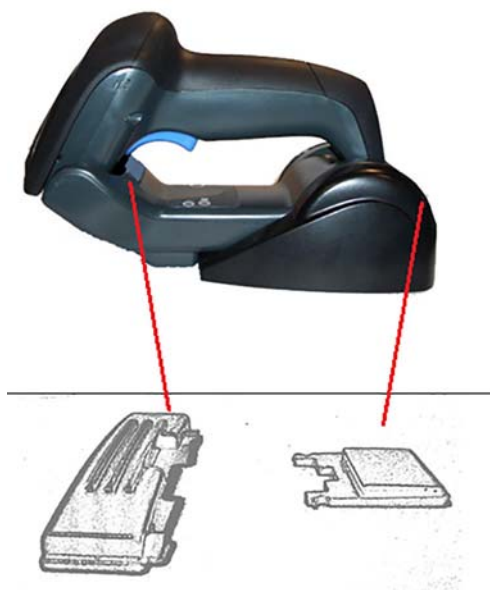
### ベースステーションの取り付け位置の調整

ベースステーション (充電器) は、机の上でリーダーを水平位置、スタンド位置、または垂直位置に取り付けられるため、必要に応じて最も使いやすい位置に設定できます。

ベースステーションの位置およびその位置に設定するために必要なクリップの種類を以下に示します。

**水平** : 他の位置に設定する必要が特にならない場合は、この位置をおすすめします。

- 最も簡単にスキャナーを取り付けることができます。
- スキャナーを取り付ける手間が最も少ないため、お客様に最大限の注意を払うことができます。



**スタンド**：スキャナーをスタンドモードで使用し、ベースステーションから取り外すことがめったにない場合は、この位置をおすすめします。



**垂直**：机の上に十分なスペースがなく、充電中にスキャナーを立てた状態にしておく必要がある場合は、この位置をおすすめします。



最適な読み取り結果を得るため、異なる取り付け位置用の部品を同時に使用しないでください。

クリップを取り付けるときに以下のような間違った取り付け方をすると、充電の接続部が正しくかみ合わなくなることがあります。


- クリップが逆向きに取り付けられている



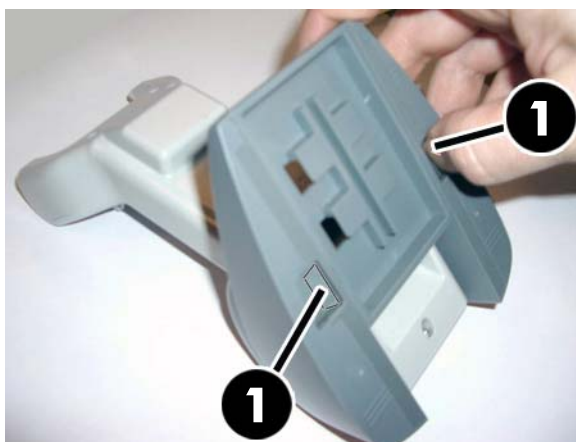
- クリップが完全に取り付けられていない




背面にクリップがあり、正しく挿入されていることを確認します。背面にクリップがないと、スタンド位置または垂直位置にしたときに、充電の接続部が正しくかみ合わなくなる可能性があります。

 **注記：** 固いペン先やマイナスのネジ回しなどの工具を使用して、取り付け部品を交換できます。ただし、工具が接続部に触れないようにしてください。

1. 親指を使って、ベースの底面にあるプラスチック製のタブ(1)を押して開き、ウィングホルダーのロックを解除します。




 **重要**：最適な読み取り結果を得るため、2つの異なる取り付け用部品セットの部品を同時に使用しないでください。

2. これで、スタンドの取り付け位置を水平（1）または斜め（2）に変更できるようになりました。



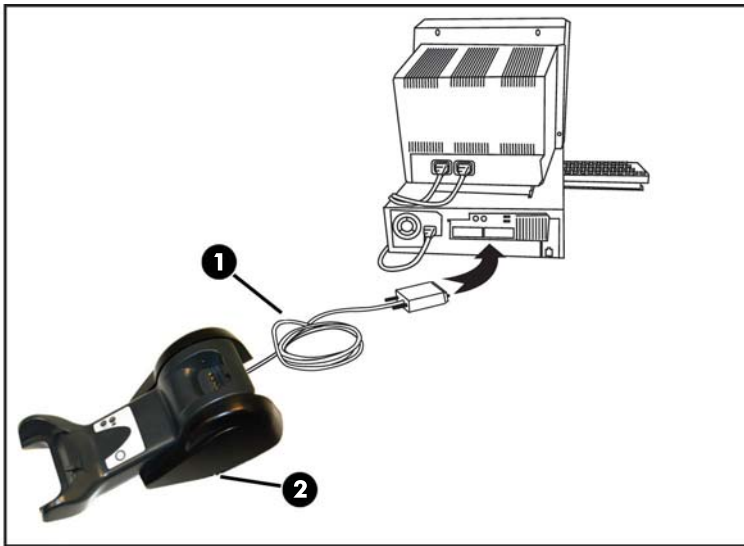
## ベースステーションの接続


ベースステーションは、ターミナル、コンピューター、またはその他のホストデバイスに接続できます。接続する前にホストデバイスの電源を切り、(必要に応じて)そのデバイスの説明書を参照してから作業を続けてください。インターフェイスケーブルを接続してから、ベースステーションの電源を入れます。

 **注記**：ターミナルからスキャナーに電源を供給することもできます。ターミナルから電源を供給する場合、バッテリー充電器は自動的に低速充電に設定されます。

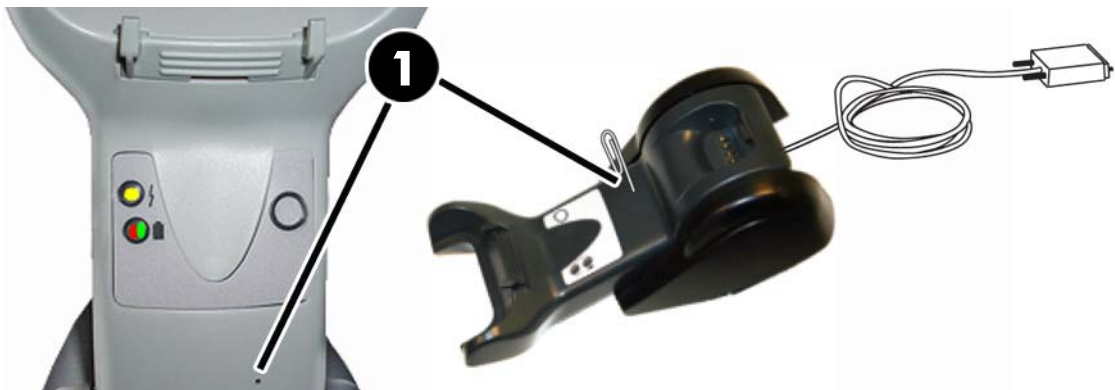
**ベースステーションの接続**：インターフェイス (I/F) ケーブル (1) のコネクタをベースステーション (2) の底面にあるポートに完全に挿入します。

**ホストの接続**：インターフェイス (I/F) ケーブル (1) をホストの USB ポートに差し込みます。



 **注記**：ホストに接続したときに PIN コードの入力を求められるようにスキャナーをセットアップできます。カスタムセキュリティ PIN を使用するシステムに新しい装置を追加する場合は、作業を続ける前に『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』(HP 無線バーコードスキャナープログラミングリファレンスガイド)を参照してください。

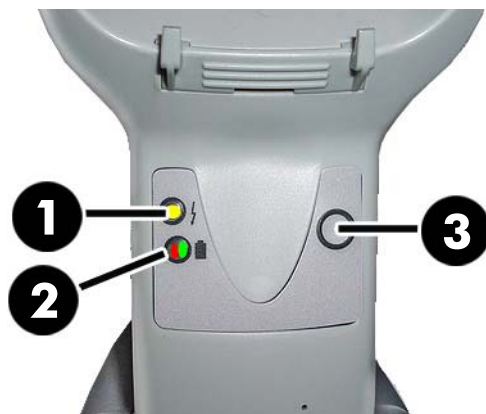
**ケーブルの取り外し**：ケーブルを取り外すには、クリップなどをベースの穴 (1) に挿入します。







## ベースの使用

### ベースのランプ

ベースのランプは、以下の表に示すように、ベースの状態およびバッテリーの残量に関する情報を表示します。



番号	アイコン	ランプ	状態
1		電源オン/データ	黄色に点灯：ベースの電源がオンになっています 黄色で点滅：ベースがホストまたはリーダーからデータおよびコマンドを受信しています
2		充電中	赤色に点灯：バッテリーを充電しています
2		充電完了	緑色に点灯：バッテリーの充電が完了しています
2		充電中 + 充電完了	赤色および緑色で点滅：リーダーがベースの上に正しく置かれていません

(3) のボタンは、[HP Scanner Configuration Software] (HP スキャナー設定ソフトウェア) ツールでデバイスを強制的に接続するとき、Bluetooth®を強制的に切断するとき、および有効になっているスキャナーを操作するとき使用できます。詳しくは、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』(HP 無線バーコードスキャナー プログラミングリファレンスガイド) を参照してください。


## バッテリーの充電


バッテリーを充電するには、スキャナーをベースに取り付けます。スキャナーをクレードルに完全に固定すると、クレードルによってスキャナーの接続が検出されたことを示す高い音が鳴ります。

ベースのランプは、バッテリーの状態を示します。

バッテリーの充電が正しく行われていることを確認するには、電源を入れたクレードルにスキャナーを固定したときに、ベースのランプが赤色に点灯することを確認してください。ベースのランプが緑色に点灯している場合は、バッテリーが完全に充電されていることを示します。ベースのランプがその他の状況を示している場合は、スキャナーがクレードルに正しく固定されていることを確認してください。

バッテリー駆動時間が長くなり、使いやすさも向上しているため、バーコードの読み取りを行うたびにスキャナーをクレードルに固定する必要はありません。使用頻度によっては、自分のシフトが終わったときにスキャナーをクレードルに固定するだけで十分な場合もあります。

 **注記：**バッテリーを使用する前に、次の「バッテリーを安全にお使いいただくためのご注意」セクションをお読みください。最適なパフォーマンスが得られるようにするため、充電式バッテリーパックは毎年交換することをおすすめします。

 **注記：**バッテリーの交換はトレーニングを受けた技術者のみが行ってください。

## バッテリーを安全にお使いいただくためのご注意

バッテリーの取り付けや交換など、バッテリーに対して作業を行う場合は、このガイドの説明に沿って操作してください。

**⚠ 警告！** スキャナー以外のデバイスを使用してバッテリーを放電しないでください。指定された製品以外のデバイスでバッテリーを使用すると、バッテリーが損傷したり、バッテリーの寿命が短くなったりする場合があります。デバイスに異常な電流が流れると、バッテリーが熱くなったり、爆発したり、発火したりして、大怪我をするおそれがあります。

リチウムイオンバッテリーパックを不適切な環境で使用すると、熱くなったり、爆発したり、発火したりして、大怪我をするおそれがあります。このガイドの安全に関する警告に必ず従ってください。

バッテリーパックを火中に投げ入れたり、高熱にさらしたりしないでください。

バッテリーパックのプラス極とマイナス極が金属製の物体（針金など）で互いに接続されないようにしてください。

金属製の容器を使用してバッテリーパックを保管したり運搬したりしないでください。

バッテリーパックに対して、釘で穴を開けたり、金づちで叩いたり、上に乗ったりするなど、強い衝撃や振動が加わるような行為をしないでください。

バッテリーパックをはんだで直接固定しないでください。

バッテリーパックに液体をかけたり、バッテリーパックを濡らしたりしないでください。

バッテリーパックの接続部に電流が流れないようにしてください。

バッテリーパックで液漏れが発生し、その液体が目に入った場合は、目を擦らないでください。水で十分に洗い流し、すぐに医療機関に相談してください。そのまま放置すると、バッテリー液によって目が損傷するおそれがあります。

バッテリーは、必ず 0℃～40℃ の温度範囲で充電してください。

HP 製品販売店が提供する認証済み電源装置、バッテリーパック、充電器、およびドックのみを使用してください。それ以外の電源装置を使用すると、デバイスが破損したり、保証が無効になったりする場合があります。

バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。バッテリーに内蔵されている安全装置および保護装置が破損すると、バッテリーが熱くなったり、爆発したり、発火したりするおそれがあります。

バッテリーを火中に投げたり、火の近くやストーブの上など温度が高い場所に置いたりしないでください。

バッテリーを直射日光の当たる場所に置いたり、暑いときに車の中に置いたりしないでください。そのような場所に置くと、バッテリーが熱くなったり、爆発したり、発火したりするおそれがあります。また、バッテリーをこのように使用すると、バッテリーのパフォーマンスが低下したり、寿命が短くなったりする可能性があります。

電子レンジ、圧力なべ、または電磁調理器の中にバッテリーを入れしないでください。

バッテリーを使用、充電、または保管しているときに、異常な臭いがする、熱くなる、色や形が変わるなど何らかの異常な兆候が見られたら、すぐにバッテリーの使用をやめてください。

デバイスの電源が入っているときにバッテリーパックを交換しないでください。

バッテリーパックのラベルをはがしたり、破ったりしないでください。

バッテリーが少しでも損傷した場合は、使用しないでください。

子供によるバッテリーの使用は、大人の管理下で行ってください。

**📌 重要：** 完全に充電または放電された状態でバッテリーを長期間保管しないでください。

バッテリーの長期間保管中に放電が進まないようにするため、3 か月ごとにバッテリーをある程度充電して残量を 50%程度に維持することをおすすめします。

未使用のバッテリーを 3 か月ごとに 20 分間高速充電すると、バッテリーのパフォーマンスの低下を防ぐことができますと言われています。




リチウムイオンバッテリーは、他の種類のバッテリーと同じく、繰り返し使用することによって容量が減少します。バッテリーは、使用しているかどうかにかかわらず、1年が経過すると容量の低下が見られるようになります。リチウムイオンバッテリーの寿命を正確に予測することは困難ですが、バッテリーメーカーによれば、充電可能回数は500回程度とされています。したがって、バッテリーの完全な放電と充電を500回繰り返すと、バッテリーの交換が必要になります。完全に放電されないうちに充電を行っていた場合は、この回数は多くなります。

リチウムイオンバッテリーの寿命は、使用方法や充電回数によって変わります。その後、特に重要性の高い用途に使用する場合には、バッテリーを交換してください。容量が著しく低下したバッテリーは使用をやめてください。バッテリーのリサイクル、処分、および交換は正しく行ってください。

消耗したバッテリーを回収およびリサイクルする場合は、欧州の指令(2006/66/EC、2002/95/EC、2002/96/EC、および以降の改正指令)、米国と中国の規定、および環境に関するその他の法律や規則に従ってください。

## バッテリーの交換

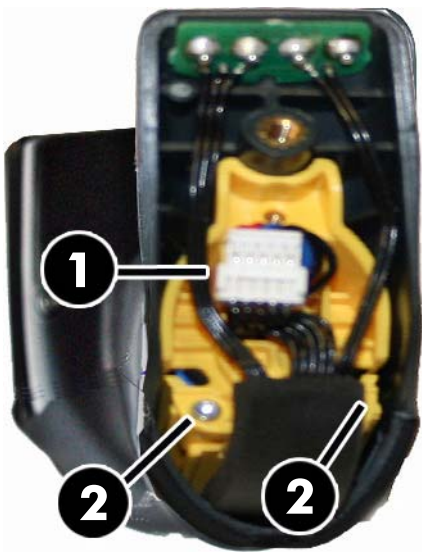
 **注記:** 作業を続ける前に、[17ページのバッテリーを安全にお使いいただくためのご注意](#)を参照してください。最適なパフォーマンスが得られるようにするため、充電式バッテリーパックは毎年交換することをおすすめします。

スキャナーのバッテリーを交換するには、以下の操作を行います。

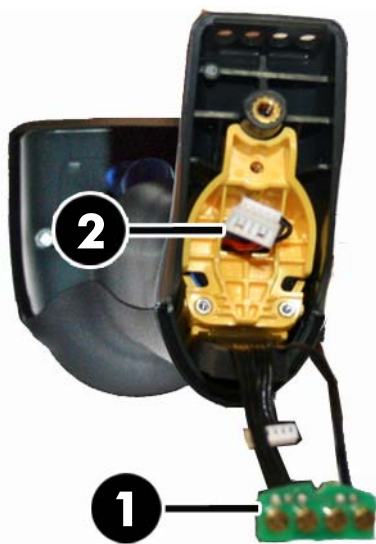
1. ネジ回しを使用して、バッテリーカバーのネジ(1)を取り外します。




2. 白色のコネクタ (1) を取り外し、バッテリーホルダーを固定している2つのネジ (2) を取り外します。



3. 金色の接続回路 (1) を慎重に持ち上げて取り出し、白色のコネクタがバッテリーホルダーの穴 (2) を通っている状態でバッテリーホルダーのキャップを取り外します。



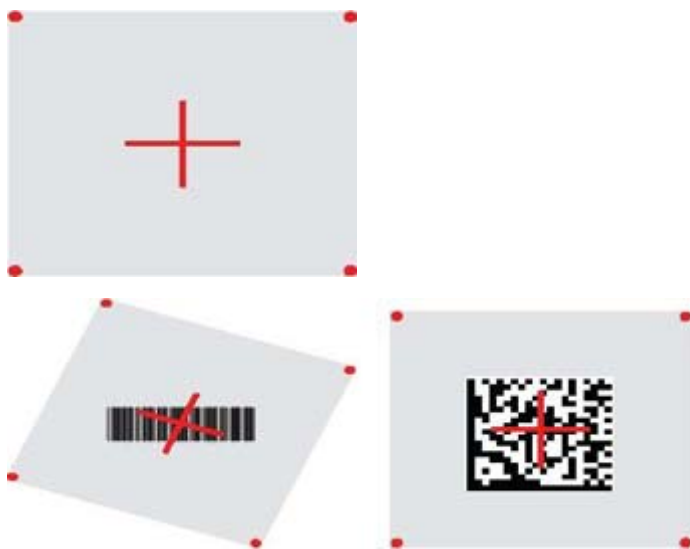
4. 使用済みのバッテリーがある場合は取り外し、新しいバッテリーを同じ場所に装着します。
5. バッテリーホルダーのキャップを取り付けなおし、コネクタを接続してから、接続回路を元の位置に戻します。

 **注記**：新しいバッテリーをハンドルに装着したら、バッテリーとコネクタの位置を慎重に調整します。

6. カバーをハンドルに装着し、ネジを締めて元の位置に戻します。

## スキャナーの使用

スキャナーは通常、コードをキャプチャおよびデコードすることによって機能します。スキャナーには、デバイスの動きに応じて照準システムを有効にする動作検出機能が内蔵されています。高性能な照準システムによって示される照射領域にバーコードが入るようにします。



赤色の光線がラベルに照射されます。照準システムによって示される領域は、スキャナーとバーコードが近づくにつれて狭くなり、遠ざかるにつれて広がります。バーまたは要素が小さい記号（ミリ単位）は、スキャナーを近づけて読み取ります。バーまたは要素が大きい記号（ミリ単位）は、スキャナーを遠ざけて読み取ります。

照準システムが中央に表示され、バーコード全体が照準フィールドの範囲内にある場合は、正常に読み取ることができます。読み取りが正常に行われると、ピープ音および正常な読み取りを示す緑色ランプのインジケーターによって表されます。

この機能およびその他のプログラム可能な設定について詳しくは、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

## スキャナーのリンクの設定

### RF デバイスとベースのリンク

RF デバイスの場合、インターフェイスを設定する前に、スキャナーとベースをリンクする必要があります。

スキャナーとベースをリンクするには、スキャナーのトリガーを押して起動するか、スキャナーをベースに取り付けて起動して、使用できるようにする必要があります。スキャナーが他のベースにリンクされていた場合は、まず[リンク解除]バーコードをスキャンしてから、新しいベースへのリンクを再設定する必要があります。

リンク解除




## スキャナーと Bluetooth アダプターのリンク

1. Bluetooth アダプターに付属のドライバーをインストールします。
2. 下の[サーバーへの RF リンクの有効化]バーコードをスキャンし、スキャナーがホストコンピュータに表示されるようにします。
3. ホストコンピュータの Bluetooth 管理ツールを使用して「新しいデバイスを検出」し、[HP Wireless Bluetooth Scanner]を選択します。エラーメッセージが表示された場合は、デバイス上でセキュリティ設定を無効にすることが必要になる場合があります。
4. RS-232 ターミナルプログラムを使用して、コンピュータの Bluetooth 管理ツールで指定されたポートに流れるデータを確認します。

サーバーへの RF リンクの有効化



 **注記：**接続時に PIN コードの入力を求められるようにスキャナーをセットアップできます。PIN をセットアップする場合、またはカスタムセキュリティ PIN を使用するシステムに新しい装置を追加する場合は、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナープログラミングリファレンスガイド）を参照してください。

## 電源切断

下のバーコードをスキャンすると、次にトリガーが引かれるまでスキャナーの電源が切断されます。

電源切断



## インターフェイスの種類を選択


スキャナーとホスト間の物理的な接続が完了したら、以下のインターフェイスの選択に進み、スキャナーが接続するインターフェイスの種類（RS-232、USB など）に関する情報およびプログラミングについて確認します。次に、適切なバーコードをスキャンしてシステムに合ったインターフェイスの種類を選択します。

### USB-COM

RS-232 標準インターフェイスをシミュレートするための USB-COM

USB-COM-STD の選択



 **注記：**お使いの製品に付属のオプティカルディスクから、適切な USB-COM ドライバーをインストールしてください。

## USB キーボード インターフェイス

USB キーボード インターフェイスのオプションを選択します。

代替のキー エンコードを備えた USB キーボード

USB 代替キーボードの選択



標準のキー エンコードを備えた USB キーボード

USB キーボードの選択



## 国モード

この機能は、キーボードによってサポートされる国や言語を指定します。以下の言語がサポートされています。

サポートされている国モード		
アメリカ英語	ノルウェー語	韓国語
英語 (英国)	スペイン語	ロシア語
ベルギー語	スウェーデン語	ヘブライ語
デンマーク語	繁体字中国語	アラビア語
フランス語	タイ語	ギリシャ語
カナダ フランス語	ポルトガル語 (EU)	ハンガリー語
ドイツ語	ポルトガル語 (ブラジル)	スロバキア語
イタリア語	日本語	

この機能の情報およびプログラミング バーコードについて詳しくは、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコード スキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

## 5 スキャナーのプログラミング

スキャナーには、標準的な初期設定による機能が工場出荷時に設定されています。インターフェイスの選択時にインターフェイスのバーコードをスキャンしたら、その他のオプションを選択し、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコード スキャナー プログラミング リファレンス ガイド）から入手可能なプログラミング バーコードを使用してスキャナーをカスタマイズします。お使いのインターフェイスに対応する機能のセクションを確認してください。また、プログラミング リファレンス ガイドの「Data Editing」（データ編集）および「Symbologies」（記号）の章を参照してください。

### プログラミング バーコードの使用

このガイドには、スキャナーの再設定を可能にするバーコードが記載されています。プログラミング バーコード ラベルの一部には、この章の標準の製品初期設定用のラベルのように、1つのラベルをスキャンするのみで変更が完了するものがあります。


また、その他のバーコードには、スキャンする前にスキャナーをプログラミング モードにする必要が生じるものもあります。プログラミング モードを開始するには、プログラミング モードの開始/終了バーコードを1回スキャンします。目的のパラメーター設定をスキャンし、プログラミング モードの開始/終了バーコードをもう一度スキャンすると、変更が確定されます。これによってプログラミング モードが終了し、スキャナーは通常の動作に戻ります。

### その他の設定

追加のプログラミング バーコードをプログラミング リファレンス ガイドから入手して、プログラミング 機能をカスタマイズできます。お使いのインストールに、標準的な工場出荷時の初期設定とは異なるプログラミングが必要な場合は、プログラミング リファレンス ガイドを参照してください。

### 標準の製品初期設定へのリセット

標準の工場出荷時設定の一覧については、プログラミング リファレンス ガイドを参照してください。スキャナーにどのようなプログラミング オプションが含まれるかわからない場合や、一部のオプションの変更後に工場出荷時の設定に復元したい場合は、次の標準の製品初期設定用バーコードをスキャンして、現在有効になっているインターフェイスの設定に工場出荷時の設定をコピーします。

 **注記：**工場出荷時の初期設定は、インターフェイスの種類に基づいて行われています。このラベルをスキャンする前に、スキャナーを正しいインターフェイスに設定します。

標準の製品初期設定



## パラメーターの読み取り

スキャナーを対象に向かって動かし、照準パターンおよび照射システムを中央に照射してイメージをキャプチャし、デコードします。詳しくは、[21 ページのスキャナーの使用](#)を参照してください。

照準システムは、取得のための時間が過ぎると少しの間オフになり、コードがデコードされない場合は次の取得の前に再びオンになります。照射自体は、記号がデコードされるまでオンのまま保たれます。

コード記号の読み取りを行うときは、スキャナーを保持する距離を調整します。

## 照準システム

照準システムの制御をカスタマイズするため、さまざまなオプションを使用できます。詳しい情報およびプログラミング用バーコードについては『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

## 正常な読み取りを示す緑色ランプの持続時間

読み取りの成功は、正常な読み取りを示す緑色ランプによって表すことができます。

以下のバーコードを使用して、読み取りの成功後に正常な読み取りを示すポインター光線が持続する時間を指定します。

プログラミング モードの開始/終了



無効



短 (300 ミリ秒)



中 (500 ミリ秒)



長 (800 ミリ秒)



## 6 動作モード

### スキャンモード

スキャナーは、複数のスキャンモードのうちの1つで動作するように設定できます。以下のオプションのどれかに関する詳しい情報および設定については、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

**1 回トリガー（初期設定）：**このモードは、一般的なハンドヘルドスキャナーの動作に関連付けられています。動作の検出が有効になっていてスキャナーが動作を検出すると、照準パターンがオンになります。トリガーが引かれると、照射がオンになり、スキャナーによってラベルの読み取りが試みられます。スキャンは以下のどれかが発生するまで有効になっています。

- プログラム可能な「最大スキャン時間」<sup>1</sup>が経過した
- ラベルが読み取られた
- トリガーが解放された

**トリガー操作で複数読み取り：**トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーの解放後も継続されます。このスキャンは、再びトリガーが引かれるかまたはプログラム可能な「最大スキャン時間」<sup>1</sup>が経過するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。二重読み取りのタイムアウト<sup>1</sup>を使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

**トリガー保持で複数読み取り：**トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーが解放されるか、または「最大スキャン時間」<sup>1</sup>が経過するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。二重読み取りのタイムアウト<sup>1</sup>を使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

**常にオン：**照射は常時オンになっていて、スキャナーでいつでもコードを読み取ることができる状態になっています。二重読み取りのタイムアウト<sup>1</sup>を使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

**点滅：**トリガーの状態とは無関係にスキャナーの照射が点滅します。コード読み取りは、フラッシュがオン<sup>2</sup>のときにのみ実行されます。二重読み取りのタイムアウト<sup>1</sup>を使用すると、不適切な複数回の読み取りが行われないように設定できます。

<sup>1</sup> これらのモードおよびその他のプログラム可能な機能については、製品リファレンスガイドを参照してください。

<sup>2</sup> フラッシュ オン時間およびフラッシュ オフ時間によって制御されます。製品リファレンスガイドを使用して、これらのオプションをプログラムします。

**スタンドモード：**スタンドモードでは、読み取りが正常に完了した後、特定の長さの時間だけ照射が継続されます。この時間の長さは設定可能です。スキャナーでは、動作が検出されるとスタンドモードが終了されます。スタンドモードからトリガーが有効になると、スキャナーはトリガーを使用するモードのどれか1つに移行します。

**モード選択：**照準パターンの中心を起点として設定可能な距離の外にあるバーコードが認識されない、またはホストに送信されない場合に、デコードおよび送信プロセスを指定します。モード選択は、スキャナーが1回トリガーモードになっている間のみ有効になります。スキャナーが異なる読み取りモードに切り替わると、モード選択は自動的に無効になります。



プログラミングモードの開始/終了



スキャンモード=1回トリガー



スキャンモード=トリガー操作で複数読み取り



スキャンモード=トリガー保持で複数読み取り



スキャンモード=点滅



スキャンモード=常にオン



スキャンモード=スタンドモード



モード選択 = 有効



## 複数ラベルの読み取り

スキャナーには、複数のラベルを読み取るためのさまざまなオプションが用意されています。これらの機能およびプログラミングラベルについて詳しくは、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP 無線バーコードスキャナープログラミングリファレンスガイド）またはソフトウェア設定ツールを参照してください。

## スタンドの操作

この機能では、スキャナーがクレードルまたはスタンドに置かれているときのスキャナーの動作を管理します。

- 自動認識を無視：スキャナーがスタンドに置かれているときにモード切り替えを無効にします。
- スタンドモードに切り替え：スキャナーがスタンドに置かれているときにスキャナーを自動的にスタンドモードに切り替えます。
- 点滅に切り替え：スキャナーがスタンドに置かれているときにスキャナーを自動的に点滅モードに切り替えます。
- 常にオンに切り替え：スキャナーがスタンドに置かれているときにスキャナーを自動的に常にオンモードに切り替えます。

プログラミングモードの開始/終了



自動認識を無視



スタンドモードに切り替え



点滅に切り替え



常にオンに切り替え



---

# A テクニカル サポート

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

## お問い合わせになる前に

問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- HP POS コンピューターに接続されている場合、POS コンピューターのシリアル番号を準備してください
- 購入年月日および購入店名
- 製品のラベルにある交換部品番号
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願います）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

## B 技術仕様

以下の表に、物理およびパフォーマンス特性、ユーザー環境、および規制に関する情報を示します。

番号	説明
<b>物理特性</b>	
色	黒
外形寸法	高さ 181 mm 長さ 100 mm 幅 71 mm
質量（ケーブルを除く）	約 246 グラム（リーダー） 約 246 グラム（ベース充電器）
<b>電気特性</b>	
バッテリーの種類	リチウムイオンバッテリーパック
完全放電から完全充電までの平均充電時間	ホストからの給電で最大 22 時間（この場合は電源アダプターが不要です） <sup>a</sup>
連続読み取り可能回数	5 万回の読み取り（通常）
クレードルの消費電力および入力電源供給範囲	4.75 V、14 V DC、8 W 未満の電力 <sup>b</sup> 、ホスト/バス電源供給モードで最大 500 mA <sup>b</sup>
<b>パフォーマンス特性</b>	
光源	ランプ
回転（傾斜）角度 <sup>c</sup>	最大±180°
傾斜角度（前後） <sup>c</sup>	±40°
傾斜角度（左右） <sup>c</sup>	±40°
照射領域	照射領域

<sup>a</sup> バッテリーの充電時間は、通常の日常的な動作環境と比べてはるかに短くなります。

<sup>b</sup> 工場出荷時の設定で測定した通常の入力電流です。

<sup>c</sup> ISO 15423 の仕様にに基づいています。

### 被写界深度（通常）<sup>1</sup>

記号	SR :
Code 39	5 mm : 4.0 ~ 19 cm 10 mm : 1.0 ~ 30 cm 20 mm : 最大 45 cm

## 被写界深度（通常）<sup>1</sup>

記号	SR :
EAN	7.5 mm : 2.0 ~ 27 cm 13 mm : 1.5 ~ 40 cm
PDF-417	6.6 mm : 2.5 ~ 15 cm 10 mm : 0.5 ~ 22 cm 15 mm : 1.5 ~ 34 cm
DataMatrix	10 mm : 2.0 ~ 16 cm 15 mm : 0 ~ 23.6 cm
QR コード	10 mm : 3 ~ 12.5 cm 15 mm : 1 ~ 19.0 cm
エレメントの最少幅	標準範囲 : 最小分解能 (1D) : 4 mm 最小分解能 (PDF-417) : 5 mm 最小分解能 (Datamatrix) : 7 mm
最小印刷コントラスト	最小 25%の反射率

<sup>1</sup> EAN に基づく 13 mm の被写界深度。その他すべての 1D コードは Code 39 の値です。すべてのラベルはグレード A、一般的な環境光下、20 °C、ラベルの傾斜角度 10 °での値です。

## 読み取り可能コード

### 1D バーコード

- UPC/EAN/JAN (A、E、13、8)
- UPC/EAN/JAN (P2/P5 を含む)
- UPC/EAN/JAN (ISBN/Bookland および ISSN を含む)
- UPC/EAN Coupons
- Code 39 (Full ASCII を含む)
- Code 39 Trioptic
- Code39 CIP (フランス医薬品)
- LOGMARS (Code 39 および標準的なチェック デジットが有効)
- デンマークの PPT
- Code 32 (イタリアの医薬コード 39)
- Code 128
- Code 128 ISBT
- Interleaved 2 of 5
- Standard 2 of 5
- Interleaved 2 of 5 CIP (HR)
- Industrial 2 of 5
- Discrete 2 of 5
- Datalogic 2 of 5 (中国の郵便コード/中国の 2 of 5)
- IATA 2 of 5 航空貨物コード
- Code 11
- Codabar
- Codabar (NW7)
- ABC Codabar
- Code 93
- MSI
- PZN
- Plessey
- Anker Plessey
- Follet 2 of 5
- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Truncated
- DATABAR Expanded Coupon

### 2D/スタック型コード

スキャナーでは、複数のフレームを使用して以下の記号のデコード（複数フレームのデコード）が可能です

## 読み取り可能コード

### 1D バーコード

- PDF-417
- QR Code
- Aztec
- Datamatrix
- Inverse Datamatrix
- Datamatrix は、以下のパラメーターに設定されます
  - Normal or Inverted (通常または反転)
  - Square or Rectangular Style (正方形または長方形スタイル)
  - Data length (データ長) (1 ~ 3600 文字)
- Maxicode
- QR Code (QR、Micro QR および Multiple QR Code)
- Aztec
- スウェーデンの郵便
- ポルトガルの郵便
- LaPoste A/R 39
- 4-State Canada
- 郵便コード
- オーストラリアの郵便
- 日本の郵便
- KIX Post
- Planet Code
- Postnet
- Royal Mail Code (RM45CC)
- Intelligent Mail Barcode (IMB)
- PDF-417
- MacroPDF
- Micro PDF417
- GS1 Composites (1 ~ 12)
- Codablock F
- French CIP13<sup>a</sup>
- GS1 DataBar Stacked
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
- GS1 DataBar Expanded Stacked
- GSI Databar Composites
- Chinese Sensible Code
- Inverted 2D codes

<sup>a</sup>ULE を使用して処理することが可能です。

サポートされるインターフェイス    USB Com Std.、USB Keyboard、USB (使用できるインターフェイスオプションについては[22 ページのインターフェイスの種類を選択](#)を参照してください)

### ユーザー環境

動作時温度	0 ~ 50°C
非動作時温度	-20 ~ 70°C
湿度	動作時 : 5 ~ 90%の相対湿度 (結露なし)
耐落下仕様	1.8 メートルの高さからコンクリート面へ 18 回落下後、動作可能
外光耐性	最大 100,000 ルクス
汚染物/雨、ほこり/微粒子への耐性	IEC 529-IP52 (スキャナーのみ)
ESD レベル	15 KV

### 規定

米国 FDA (Food and Drug Administration) が定めるレーザー製品のパフォーマンス基準に適合します (Laser Notice No. 50 (2007/6/24) に準ずる逸脱を除く)

### 無線機能

周波数範囲	2400 ~ 2483.5 MHz
範囲 (屋外)	30 m

## ランプおよびビープ音によるインジケータ

スキャナーのビープ音およびランプでは、スキャナーのさまざまな機能やエラーが表示されます。また、オプションの緑色ランプも有効な機能です。以下の表に、これらのインジケータの一覧を示します。ただし、スキャナーの機能はプログラム可能であり、インジケータのオン/オフを切り替えられることがあるため、表に示された動作に当てはまらない場合もあります。たとえば、電源投入のビープ音のような特定のインジケータは、プログラミングバーコードラベルを使用することで無効にできる場合があります。

インジケータ	説明	ランプ	ビープ音
電源投入ビープ音	スキャナーは電源投入処理中です	なし	スキャナーは、電源投入時に最高の周波数と音量で4回ビープ音を鳴らします
正常読み取りのビープ音	ラベルがスキャナーに正しくスキャンされました	このインジケータのランプの動作は、「Good Read:When to Indicate (正常読み取り:インジケータのタイミング)」(詳しくは、『HP Wireless Barcode Scanner Programming Reference Guide』(HP 無線バーコードスキャナープログラミングリファレンスガイド)を参照してください)の機能によって設定できます。	スキャナーでは、現在の周波数、音量、単音調または複音調設定、および長さで、1回ビープ音が鳴ります
ROM の障害	スキャナーのソフトウェアまたはプログラミングにエラーがあります	点滅	スキャナーでは、最大の音量で1回のエラービープ音が鳴ります
制限されたスキャンのラベル読み取り	ホスト接続が確立されていないことを示します	なし	スキャナーでは、最高の周波数および現在の音量で6回高く鳴ります。
スキャナーがアクティブモード	スキャナーがアクティブになっていてスキャン可能な状態にあります	ランプが徐々に点灯します <sup>1</sup>	なし
スキャナーが無効	スキャナーがホストによって無効に設定されています	ランプが継続的に点滅します	なし
緑色ランプ <sup>1</sup> が一瞬点滅	ラベルの読み取りが成功すると、ソフトウェアによって設定値で指定された時間だけ緑色ランプがオンになります	なし	なし
イメージキャプチャ	イメージをキャプチャする準備ができています	更新時に青色のランプが2回点滅します	なし

<sup>1</sup> スリープモードの状態、または[Good Read LED Duration] (正常な読み取りのランプの持続時間) が 00 以外の場合を除きます

**プログラミングモード**：以下のインジケータは、スキャナーがプログラミングモードになっている場合にのみ機能します。

インジケータ	説明	ランプ	ビープ音
ラベルのプログラミングモードでの入力	有効なプログラミングラベルがスキャンされました	ランプが継続的に点滅します	低い周波数で4回ビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでの拒否	ラベルが拒否されました	なし	スキャナーは、最低の周波数および現在の音量で3回鳴ります
ラベルのプログラミングモードでの部分的なラベルの受け入れ	1つの機能をプログラムするために複数のラベルをスキャンする必要がある場合、このインジケータによってラベルの個々の部分が正しくスキャンされたかどうかわかります	なし	スキャナーでは、最高の周波数と現在の音量で1回短いビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのプログラミングの受け入れ	設定オプションがラベルを介して正しくプログラムされ、スキャナーではプログラミングモードが終了されました	なし	スキャナーでは、高い周波数のビープ音が1回、低い周波数のビープ音が4回鳴ってから、リセットのビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのキャンセル項目の入力	キャンセルラベルがスキャンされました	なし	スキャナーは、低い周波数および現在の音量で2回鳴ります

## エラーコード

スキャナーの起動時に長い音が鳴る場合は、スキャナーの自動セルフテストが正常に完了しなかったためにFRU（Field Replaceable Unit）分離モードが開始されたことを示します。スキャナーがリセットされると、一連の処理が繰り返されます。

以下の表に、検出されたエラーに関連するランプの点滅およびビープ音のコードを示します。

ランプの点滅/ビープ音の回数	エラー	修正方法
1	構成	ヘルプデスクにお問い合わせください
2	インターフェイス PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
6	デジタル PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
12	イメージャー	ヘルプデスクにお問い合わせください
15	加速度計	ヘルプデスクにお問い合わせください